

令和5年度

学校運営協議会（最終報告）

令和6年3月

学校名 昭島市立武蔵野小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	雨倉 寿久	保護司	学校の運営に資する活動を行う者
副会長	松本 智子	社会教育委員、主任児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	下野 和生	地域支援者	学校の運営に資する活動を行う者
委員	山本 和代	武蔵野小放課後子ども教室運営委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	岩崎 成昭	多磨育成会 むさしの保育園事務長	その他教育委員会が適当と認める者
委員	福島 由佳	武蔵野小元PTA会長	地域住民
委員	根津 美穂	武蔵野小PTA会長	保護者
校長	大河原 博	本校 校長	本校 校長
副校長	大森 雅之	本校 副校長	本校 副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和5年6月24日(土) 11時 - 12時	1 校長より 2 委員紹介 3 学校運営協議会組織づくり 4 学校経営計画 5 学校運営協議会運営目標および活動計画 6 令和5年度教育課程について 7 情報交換「武蔵野小教職員との顔合わせ」	学校公開時
第2回	令和5年10月7日(土) 14時 - 15時	1 校長より 2 運動会の様子について 3 2学期の学校の様子について 4 学校運営協議会の予算について 5 その他(情報交換)	運動会終了後
第3回	令和5年11月18日(土) 14時 - 15時	1 校長より・10月から11月の学校の様子概要・学力調査の状況について 2 芸術祭の様子について 3 2学期の学校の様子について 4 学校運営協議会の予算について 5 その他(情報交換)	芸術祭終了後
第4回	令和6年1月20日(土) 11時 - 12時	1 校長より・3学期の学校の様子概要 2 学校公開・道徳授業地区公開講座の様子 3 3学期の学校の様子について 4 学校関係者評価について 5 その他(情報交換)	学校公開時
第5回	令和6年2月22日(木) 18時 - 19時	1 校長より・学校運営計画・卒業式、入学式について 2 学校関係者評価について 3 3学期の学校の様子について 4 次年度の計画について 5 その他(情報交換)	年度末

3. 学校運営協議会の取り組みにおける成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

「成果」

- ・児童の状況を報告し、意見や質問を受けることで対応を改善することができた。
- ・行事の感想(児童のがんばり等)を朝会で児童に伝えることができ励みになった。

「課題」

- ・児童に直接会う場面がないため、児童に役割を伝えていくことも必要だと考える。

◎最終報告(中間報告を踏まえて作成)

「成果」

- ・意見や質問を受けることで対応を改善することができ、次年度の課題が明確になった。
- ・行事を参観していただいたことで、次年度の改善につなげることができた。

「課題」

- ・児童に直接会う場面を設定し、地域運営学校の意識を高める必要がある。

教員面において

◎中間報告

「成果」

- ・年度当初に教職員と顔合わせを行ったことで、職員が学運協のメンバーと役割を理解することができた。

「課題」

- ・より協働して教育活動を推進するために、教職員と相互の意見交流をする場面を設定する必要がある。

◎最終報告(中間報告を踏まえて作成)

「成果」

- ・職員が学運協の役割を理解したことで、「地域に根差した学校」との意識が高まった。

「課題」

- ・学運協と教職員と相互の意見交流をする場面を設定する必要がある。

地域での活動面において

◎中間報告

「成果」

- ・委員の方から地域の活動について、ご意見をいただくことで学校と地域の連携がより深まった。

「課題」

- ・地域人材をより活用するために、委員の方からよりご意見をいただく必要がある。

◎最終報告(中間報告を踏まえて作成)

「成果」

- ・学運協の活動を通して、学校と地域の連携がより深まった。

「課題」

- ・地域人材をより発掘し活用するために、学運協の方々から情報やご意見をいただく必要がある。

翌年度に向けた展望(最終報告時に作成)

- ・初年度の成果を生かし、課題を明確にして各回の内容を設定する。
- ・児童や職員と直接意見交換できる場面を設定し、児童や教職員にとって学運協がより身近に感じられる取組を設定する。
- ・学運協を通して、より地域と密接に連携できる取組を設定する。

令和5年度

学校運営協議会（最終報告）

令和6年3月

学校名 昭島市立つつじが丘小学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	横山 四郎	自治連19ブロック長	地域住民
副会長	吉元 伊津子	昭島市民生児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	大隈 博幸	ウィズユース委員長	地域住民
委員	角田 香奈	前本校PTA会長	地域住民
委員	柳井 俊男	自治連17ブロック長	地域住民
委員	宮里 成子	昭島市民生児童委員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	中山 誠	本校PTA会長	保護者
委員	三浦 香代子	元本校PTA会長	地域住民
校長	大友 基裕	本校 校長	校長
副校長	鈴木 隆弘	本校 副校長	副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和5年6月17日	① 自己紹介 ② 学校運営協議会の趣旨説明 ③ 令和5年度学校経営の概要 ④ 学校関係者評価について ⑤ 意見交換	
第2回	令和5年10月21日	① 校長挨拶 ② 児童の様子 ③ 意見交換 ④ その他連絡事項等	
第3回	令和5年11月18日	① 校長挨拶 ② 児童の様子 ③ 意見交換 ④ その他連絡事項等	
第4回	令和6年1月27日	① 校長挨拶 ② 児童の様子 ③ 意見交換 ④ その他連絡事項等	
第5回	令和6年2月22日	① 校長挨拶 ② 学校関係者評価 ③ その他連絡事項等	

3. 学校運営協議会の取り組みにおける成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

・地域人材を活用した特別授業を実施することで、児童の興味関心を喚起したり、主体的に学ぶ姿勢が備わってきたりした。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・学年や要望に応じて、様々な人材や学習材を提供していただき、児童の知的好奇心が高まったり、日々の学校生活が充実したりした。

教員面において

◎中間報告

・地域人材の豊富さに気づき、児童の実態や教師のねらいに合わせて、様々な人材を活用して特別授業を実施することができた。
・物品や部品を借りたり、行事等で人的なサポートをいただいたり、日々の教育活動に大きな支援をいただくことができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・地域行事や学校公開等で学校運営協議会委員と教職員が顔を合わせる機会が増え、今まで以上に協力体制を築くことができた。

地域での活動面において

◎中間報告

・ハイツ祭りやブロック運動会など、地域行事に教職員が参加することで、地域の方々と連携を深めることができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

・地域とのつながりが深まり、人的なサポートだけでなく、寄贈等の物的なサポートもあり、日々の教育活動が充実した。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

・引き続き、地域の人材や学習材を大いに活用し、児童の主体的な学びを引き出していく。
・学校公開等を活用し、学校運営協議会委員の皆様に見ていただき、学校・地域が一体となって児童の健全な育成を図っていく。

令和5年度

学校運営協議会（最終報告）

令和6年3月

学校名 昭島市立瑞雲中学校

1. 学校運営協議会委員

	氏名	役職	選出区分
会長	宮田 次朗	つつじが丘ハイツ北住宅管理組合理事長	地域住民
副会長	松本 智子	社会教育委員、主任児童委員、教育活動支援員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	雨倉 寿久	保護司、学校と家庭の支援員	学校の運営に資する活動を行う者
委員	阿部 浩	自治連第20ブロック長	地域住民
委員	齋藤 夕子	前PTA会長	地域住民
委員	太田 弥生	元PTA副会長	地域住民
委員	福島 由佳	PTA事務局長	保護者
校長	山下 久也	本校 校長	本校 校長
副校長	三田 祐太	本校 副校長	本校 副校長

2. 開催日及び主な議題等

	日付	内容	備考
第1回	令和5年 6月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 令和5年度学校経営方針説明 各分掌から(教務・生活・進路) 情報交換 	
第2回	令和5年 9月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観(道徳授業地区公開講座) 協議会(道徳授業地区公開講座) 人事要望の検討 情報交換 	
第3回	令和5年 12月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌から2学期の活動報告 修学旅行実施報告 進路面談を終えて 情報交換 	
第4回	令和6年 2月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> スキー移動教室実施報告 職場体験報告 情報交換 	
		降雪のため書面開催	
第5回	令和6年 3月5日(火)	<ul style="list-style-type: none"> スキー移動教室実施報告 職場体験報告 今年度の総括 来年度に向けて 情報交換 	

3. 学校運営協議会の取り組みにおける成果と課題

児童・生徒面において

◎中間報告

- ・道徳授業地区公開講座の授業参観を各委員の方にしていただいた。現状の生徒の実態を把握していただくことができた。
- ・各委員からの情報交換の中で、学区内の危険箇所、地域の行事など各種情報をいただき、生徒に連絡することができた。
- ・生活指導部からふれあい月間における取組み報告を行い、委員と情報交換をすることができた。学校だけでは見えない地域の情報を把握することができた。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・生徒情報（生活指導面での指導、進路指導における現状）を委員と共有することができた。
- ・次年度も今の取組みを継続して一貫性のある教育活動を展開してほしいという要望がでた。
- ・学校だけでなく、地域も今以上に子どもたちに関心を持ち健全育成に向けた意識改革や取組む必要があることを再確認した。

教員面において

◎中間報告

- ・道徳授業地区公開講座の授業参観を各委員の方にしていただいた。各クラスの指導方法なども参観いただき、ご意見をいただくことができた。（ICTを使っていて良い、生徒に寄り添った指導をしているなど。）
- ・「学校の対応が年々多岐に渡っていることに危惧を感じ、今以上に地域の力で学校を支えていく必要性がある、学運協の委員として学校を支えたいので何かあれば遠慮なく連絡して委員と活用してほしい。」と委員からの提案があった。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・委員の意見から「現在の教員の多忙さを危惧している。学校教員だけで抱え込むのではなく、地域も協力できることがあれば協力する」という意見をいただき全体共有することができた。
- ・教員が楽しく職務に励むことができる学校を目指してほしい。
- ・委員としてできることは行うので今後も学校からの情報発信をしてほしい。

地域での活動面において

◎中間報告

- ・夏祭りや地域合同防災訓練など各種の行事に各委員の方が参加しているので、学校との連携が容易にできている。
- ・生活指導部ボランティア担当から年間を通しての地域ボランティア参加人数表が示され、地域の多くの生徒が活躍している報告をすることができた。
- ・地域と学校がつながる連絡方法の構築が課題である。

◎最終報告（中間報告を踏まえて作成）

- ・次年度の学校予定が分かったので、地域とも共有し子どもたちが地域に関わりがもてるような取組みを学校と協力していきたい。
- ・副校長や生活指導主任を窓口としていつでも地域と連絡がとれるようにしていくことを次年度も継続したい。

翌年度に向けた展望（最終報告時に作成）

- ・教員や学校だけでは対応できない事案について運営協議委員の方に相談し助言をいただくことができた。次年度以降委員の方にさらに参画していただくことで、今まで以上に学校の対応が迅速さらに的確にできるようにしていく。
- ・運営協議委員の方にはこれまで以上に学校経営への参画協力を依頼し、地域の中の学校を作り上げていくことを望む。